

平成29年度 兵庫県大学図書館協議会研究会 当日アンケート集計結果

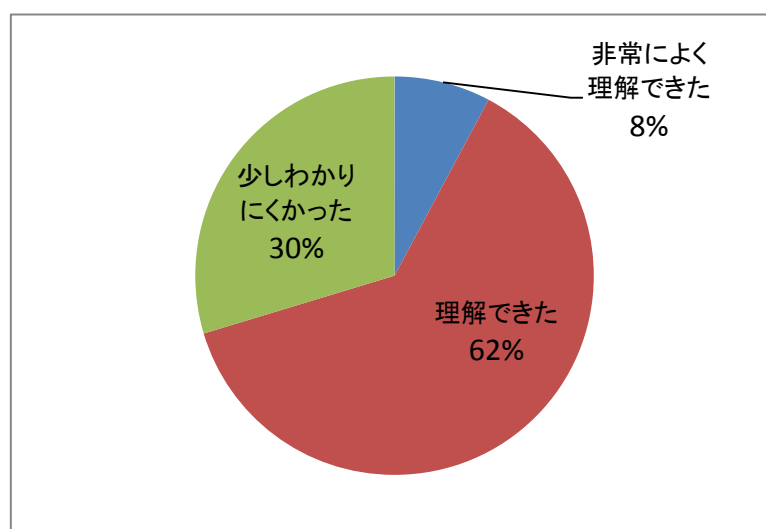
日時:平成29年11月17日(金)14:00～16:45

会場:神戸市看護大学ホール

当日参加者数:74名、アンケート回答数:64(回収率86%)

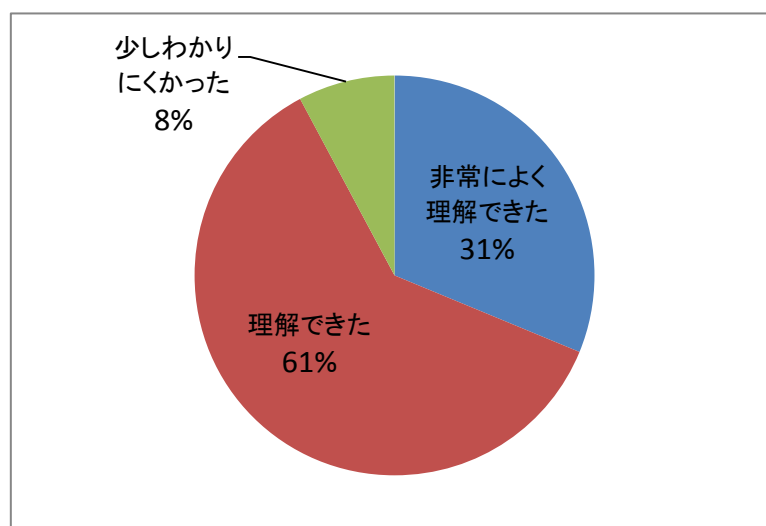
1. 講演①「RDAと目録の書誌的宇宙」(高野真理子氏)について

	回答数	回答率
非常によく理解できた	5	8%
理解できた	40	62%
少しわかりにくかった	19	30%



2. 講演②「CAT2020と目録業務の今後について」(藤井真樹氏)

	回答数	回答率
非常によく理解できた	20	31%
理解できた	39	61%
少しわかりにくかった	5	8%



1. 講演①「RDA と目録の書誌的宇宙」(高野真理子氏) について

(自由記述)

- ・職場に戻って、RDA についてもっと勉強したいと思った
- ・とてもわかりやすいご説明ありがとうございました
- ・RDA 自体のお話をもう少しお聞きしたかったです
- ・自身の知識不足のため、なかなか理解が追い付かない部分がありました
- ・高野氏のお話をお聞きするのは今回で2度目でしたが、より深いお話を聞くことができ、大変良かったです
- ・お恥ずかしながら、RDA について不勉強で、今回のお話を伺って初めて知ったことが多かったですが、その分大変充実感を得ることができました。RDA 的な目録はデジタル領域の普及がどんどん進む今後の世界にとって、とても有用であると感じています
- ・ひとえに自分の勉強不足と痛感している
- ・RDA に詳しくなかったのもう少し用語について説明を入れてもらえると良かったと思います。わからないなりに、たくさんのお話を聞いてためになりました
- ・勉強不足でなかなか理解しづらい点もありましたが、これを機に RDA についても勉強していきたいです。貴重なお話をありがとうございました
- ・途中スライドが速すぎました。どこかでアップしていただければ
- ・RDA と NACSIS-CAT の共通点の多さに驚きました。あっという間の時間で、もう少しお話を聞きたかったです
- ・TOOLKIT を使ってみようと思います
- ・私の理解不足によるものと思われそうですが、イメージがつかみにくかったです
- ・RDA 自体がもう一つわかりにくい部分があるので、説明のポイントは大変だったと思います
- ・NACSIS-CAT との共通点が案外多いというところは興味深い。ただ、やはり日本語版が出ていないことや、使用に費用がかかるところがネックではないか
- ・RDA の翻訳本が出版される予定があるのですか？
- ・元々 RDA やその他の目録用語についてほとんど理解していなかったのも、難しい話だなというのが正直な意見です
- ・この講演だけでは CAT2020 との繋がりがよく理解できなかったのですが、全体を通してこの演題の重要性がわかりました
- ・この時期に貴重なお話を聞いて大変ありがたい機会となりました。ありがとうございました。自館での業務のあり方、予算の立て方に検討材料となります。実際に RDA を使用してみて、さらに考えを深めたく存じます
- ・事前に勉強する必要がありました
- ・駆け足だったので、もっと詳しくお話を聞いてみたいと思いました。カタログの「体現形」はなじみがあるけれど「Work」についての考え方は普段していなかったのも、参考になりました。RDA の期間限定の PW を有効に使わせていただきたいと思います
- ・Google で所蔵まで検索できる日が早く来ればいいですね
- ・RDA 自体の説明を飛ばされていたので
- ・もう少し RDA そのものについてのお話が聞きたかったです (私自身が勉強不足なのが悪いのですが…)
- ・自分自身がローカルでの簡単な目録作業しか行っていないので、難しく感じたのだと思います

- ・ 目録を専門的にやっているわけではないので、専門用語が多く、ついていくのに精いっぱいでした。 図解いただいていた部分はわかりやすかったです。 RDA に興味が出ました。 外部のデータをリンクしていくことで、今後はどこにコストがかかっているのか気になりました
- ・ これまでの考え方をベースに、大胆に方向転換することなど柔軟に対応できるよう、まだまだ理解を深めたい
- ・ 情報は聞いていても、理解できる範囲にまで至らなかった。 本日のお話を聞いて、「何となく」はつきましますがイメージとして理解はできるようになった。 外国の書誌の関わりのある図を見たことがあったが、「書誌的宇宙」として理解することはできた
- ・ 目録やその構成については業務として携わっていなかったもので、大変勉強になるものだった
- ・ 私の知識不足のため、少し難しい内容でした。 もっと勉強して RDA のことも理解できるようにしたいと思います
- ・ そもそも目録のあり方を考えさせられました。 目録をよりシンプルにわかりやすくするために、外部とのリンク付けが広く必要となってくるのだなと思いました
- ・ RDA の目指すポイントがとても良くわかった
- ・ 膨大な数の資料の同定のためのルール作りの重要性を感じました。 この宇宙から利用者が望む情報を得られ、また得るための時間の節約にもなる意義のあるプロジェクトだと感じました
- ・ FRBR モデルは NC とは異なり、考え方をすべて変えなければいけないのかと思っていましたが、共通している部分もあるとわかり、少し安心しました。 RDA TOOLKIT を早速使ってみたいと思います
- ・ とてもわかりやすかったです。 非常に良かったです。 ただ、最後が駆け足で少し追いつけませんでした

2. 講演②「CAT2020 と目録業務の今後について」(藤井眞樹氏)

(自由記述)

- ・ 他の研修でも聞いていたので、改めて課題などを確認できた
- ・ 各館で提供する OPAC で名寄せが上手く機能するか不安です。 ベンダーとの話し合いもされているとのことですが、この点に特に留意して情報交換を行っていただきたいです
- ・ お話を伺い安心して 2020 を迎えられそうです。 ありがとうございます
- ・ 書誌が並列するようになった場合、利用者にとってどう見えるかなど気になっていましたので、その辺りがよくわかりました
- ・ 後半のお話、とてもわかりやすかったです
- ・ 具体的な例も出て、話がとてもわかりやすかったです
- ・ 一つ目の講演と併せて、今後の目録について非常に参考となる貴重なお話を伺うことができました。 改めて勉強して、今後の変化に対応してゆけるよう備えたいと思います
- ・ 今後の動向を見守りつつ、自分自身も意識して業務に取り組んでいかなければならないと感じた
- ・ 具体的にどこがどのように変わるのかを聞いて大変わかりやすかったです。 システム(クライアント側)の大掛かりな変更はしなくてもよさうだとわかり、少し不安感が薄くなりました
- ・ ただ不安ばかりだった CAT2020 が少し身近に感じられました。 本日はありがとうございます
- ・ 各館のルール作りが必要だと思いました
- ・ 今後の運用についてよくわかりました

- ・貴重な機会を設けていただきありがとうございました。何を知らないのかということを確認することができたことを含め、大変勉強になりました
- ・確定していないことも多い中、可能な範囲で具体的なお話を聞かせてくださりありがたかったです
- ・2020 に変更されることに対して、どのような変化があるのか興味がありました。内容が判明した部分があり、どのように私の持つ意識を変えるのかが必要だと思いました。どうもありがとうございました
- ・目指すところの像は理解できたと思うが、実際に移行していくときにかなり混乱が生じるのではないかと感じる
- ・並立書誌の考え方に慣れるのが大変だと思いました。無駄な書誌は許せない派です。出版物理単位の考え方が体に染み込んでいる。親書誌も並立書誌ができるようになるのでしょうか。そうなれば、その分だけ子書誌が増えるように思います。綺麗な書誌万歳！！
- ・具体的な話が聞けたのでイメージが大分掴めました。慣れもあるのでしょうか、目録作成に身を引き締めようと思います
- ・2020 に向けて、システムがどのように変わるのか話し合いの中の段階で、決定していないことも含めて非常に詳しくお知らせいただき、大変ありがたかったです。業務のあり方、今後のシステム移行などに参考にさせていただきます
- ・細かいところがいろいろと気になりました
- ・今どの段階までお話が進んでいるのか教えていただけて良かったです。フラットな書誌構造になることで、データがとても増えたり、同定が難しくなるのではと思いました。2020 年に向けて、頑張っ て対応したいと思います。ありがとうございました
- ・書影（標題紙・奥付など）と目次を AI で取り込んで、それが物理単位データになればもっといいですね
- ・今後の目録業務の方向性がよくわかりました
- ・現状はよく理解できました。非常に素朴な疑問ではありますが、IAAL などで実施いただいている図書書誌の検定の基準がかなり変更になるのかな？と思いました。研修などの充実を期待しています
- ・近いうちに発表される予定のガイドラインが楽しみ！！
- ・同じ大学あっても物理的に立地場所が違っていたり独立館であった場合、現状では全く別々の理念で書誌目録が作成されていたりして、歩み寄ることも難しかったため、今回の進化で見やすい目録になる気がしてきた。ただし、ローカルも多いため、NACSIS に上げていくことから始めねばならない
- ・今まで見てきた書誌データが今後どのように業務を行うにあたり活用できるか、活用していくか、考えていかなければならないと思う
- ・効率良く業務ができるよう改善を検討されていることに感謝したいと思いました。また、とても勉強になりました
- ・公共図書館との連携、私はやってほしいと思いました。物理単位での書誌作成は、構造としてはすごくわかりやすくなるので良いと思います！
- ・目録作業の効率化に非常に期待できると思いました
- ・2020 年以降の業務に関するイメージが少し明確になりました。受け身でいるのではなく、より良い目録業務ができるよう考えていかなければいけないと感じました
- ・実務イメージが具体的になってきました。とても役立ちました

3. 今後、協議会で取り上げてほしいテーマについて

(自由記述)

- ・ありがとうございました
- ・いつも勉強になる研修会を開催いただきありがとうございます。今後も積極的に参加し、理解を深めたいと思います
- ・本日は大変お世話になりありがとうございました。最新情報を得る貴重な機会となりました
- ・ご準備ありがとうございました
- ・初心者から学べる（研修が受けられる）「書誌とは何か」「NIIについて」など、図書館の基本的なことが学べる機会が自分には必要だと思っておりますので、そういうテーマがあればぜひ参加したいです
- ・貴重な資料の入手（海外への ILL 依頼など）についての事例、館内のレイアウトでの工夫
- ・今回のテーマとは全く関係がないのですが、学生の利用が高い資格関連の問題集や参考書の内容が新しく変更があった場合に、どのように情報を収集して新しく発注しているのか、他大学でどのように対応されているか知りたいです
- ・CAT2020 施行後の実務者研修会
- ・今回のお話で RDA に興味が出ました。基礎講座などを聞いてみたいです
- ・大きな館に合わせるのではなく、小規模館のシステムへも思いを寄せて、司書業務の改革についても話し合っければいいのではと思っています
- ・図書館の人材育成